

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	3	のびやか・雄武	整理番号	41
基本施策	12	学校教育の充実	評価 責任者	教育振興課長 澤田 朋朗
単位施策	1	小中学校の教育内容の充実		

1 施策の概要

基本方針	児童生徒一人ひとりに配慮しながら個性を生かす教育を推進し、基礎・基本を定着させ、自ら学ぶ意欲を引き出す授業を充実するとともに、特別な支援を必要とする児童生徒に対し支援体制を強化します。また、自然体験や職業体験、国際理解教育、情報教育、食育など、地域に根ざした特色のある学習を推進します。			
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）		
	学習指導要領の基本理念である「生きる力」の育成のため、地域や学校の特性を生かした創意ある教育課程の編成をはじめ、学力向上に向けた取り組みの推進が図られている。	各学校の特色を生かした教育活動を展開し、児童生徒が自ら問題を見つけ、自分たちで解決していこうとする積極的な姿が見られるようになり、「生きる力の育成」を図ることができた。特別支援教育においてもニーズに応えた支援員の配置による支援が行えたほか、教育支援委員会及び特別支援連携協議会の連携による支援体制の構築が図られた。		
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）		
	全国一斉学力テストの結果にもつじた学校改善プランの確実な実施とともに、特別な支援を必要とする児童生徒の対応について、保育所、小学校、中学校及び高校の接続と連携を強化していく必要がある。	全国学力学習状況調査の結果に基づいた学校改善プランの確実な実施とともに、いじめ、不登校、情報モラル、食育、体力の向上、中1ギャップ等、家庭や地域と連携して解決しなければならない課題に直面している。特別支援教育においても個別のニーズに応じた支援体制を関係機関の連携のもと推進を図る必要がある。		

2 基本施策指標

指標1	指標名	全国学力・学習状況調査					
	定義等	「将来の夢や目標を持っている」と回答した人（小学6年生）の割合					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						70.00%
実績値		44.4% (全道66.2%)	61.5% (全道67.8%)	78.0% (全道70.5%)	61.5% (全道68.2%)		
指標2	指標名	全国学力・学習状況調査					
	定義等	「将来の夢や目標を持っている」と回答した人（中学3年生）の割合					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						60.00%
実績値		57.1% (全道46.3%)	45.8% (全道44.8%)	54.5% (全道46.9%)	64.0% (全道45.9%)		
指標3	指標名	全国学力・学習状況調査					
	定義等	「学校の授業以外に普段(月～金)、1日当たり1時間以上勉強している」と回答した人（小学6年生）の割合					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						45.00%
実績値		7.4% (全道41.9%)	25.7% (全道47.3%)	65.8% (全道50.5%)	28.2% (全道51.4%)		
指標4	指標名	全国学力・学習状況調査					
	定義等	「学校の授業以外に普段(月～金)、1日当たり1時間以上勉強している」と回答した人（中学3年生）の割合					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						65.00%
実績値		57.1% (全道63.9%)	45.8% (全道58.8%)	81.7% (全道62.1%)	68.0% (全道61.2%)		
指標5	指標名	特別支援教育支援員					
	定義等	特別支援教育支援員の人数					
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						2人
実績値		1人	1人	2人	3人		
指標6	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
実績値							
指標7	指標名						
	定義等						
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	言語治療児童援助事業	教育総務係	254	A	継続/現状維持	A
②	遠距離児童生徒通学費補助事業	教育総務係	0	A	継続/現状維持	B
③	語学指導を行う外国青年招致事業	教育総務係	4,962	A	継続/現状維持	A
④	小中学校教師用指導書購入事業	教育総務係	5,375	A	継続/現状維持	A
⑤	雄武町特別支援教育推進事業	教育総務係	9,077	A	継続/現状維持	A
⑥	ふるさと教員配置事業	教育総務係	3,588	A	継続/現状維持	A
⑦	要保護・準要保護児童生徒援助事業	教育総務係	2,457	A	継続/現状維持	A
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	小中学校の教育内容の充実については、国の教育施策等の動向を見据えながら、義務教育を推進する上で必要不可欠な施策である。
② 有効性	A	少人数・習熟度別学習や放課後の補充学習など、児童生徒の基礎・基本を定着させる授業と自ら学ぶ意欲を引き出す授業の充実により、有効な施策の推進を図った。
③ 効率性	A	小中学校の教育内容の充実のため、最小の経費で最大の効果が得られるよう、財源の配分及び関係事業執行の工夫により、効率的な施策の推進を図った。
④ 公平性	A	義務教育の対象となる児童生徒の全員に受益が及びことから、公平性は確保されている。
⑤ 町民意見の反映	A	小中学校の教育内容の充実については、学校評議員の配置及びPTAとの連携により、町民意見の反映を図っている。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
小中学校の教育内容の充実を図るため、関係事業を効果的に進めたことにより、児童生徒の生きる力の育成及び学習意欲の向上が図られており、引き続き現行施策の推進を図ることが必要である。	同 左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
小中学校の教育内容の充実については、引き続き関係事業を推進していくこととするが、体力向上については一層推進していく必要がある。特別な支援を要する児童生徒への対応については、今後も、教育支援委員会及び特別支援連携協議会の連携のもと、保育所・小中学校・高等学校間の情報共有を図り対応するものとする。	同 左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止